

YCU 第2クォータープログラム 派遣学生報告書

氏 名	K.M	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	3 年	派遣国	スペイン
派遣大学	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学		
コース名	C コース：初習外国語語学研修		
期 間	2026 年 8 月 3 日～ 2026 年 8 月 28 日		

(1) 授業や課題、演習はどのような内容であったか。(800 字程度)

(可能な限り具体的に、印象に残った授業などの説明があるとよい)

月～金の平日 9 時から 14 時まで授業がありました。テストの結果、B1 クラスに配属され、レベルとしてはちょうど真ん中くらいだったと思います。教科書が配布され、一応その通りに進行されますが、学生が質問すれば内容から脱線していくこともしばしばありました。例えば Navidad という単語の意味を聞かれたとき、先生は「クリスマス」という意味を教えて終わるのではなく、スペインでのクリスマスの過ごし方を説明し、そのあと各学生に自分たちの国でのクリスマスの祝い方を聞くというような感じです。特に、スペインと同じ EU 加盟国であるドイツやイタリアから来た学生に質問し、比較して文化や社会について学びを深める機会が多かったです。各国の文化を知れたのは興味深かったし、話そうとして初めて分からない語彙に出会い、先生に聞いて、そして実際に使うというサイクルができてどんどんボキャブラリーが蓄積されていくのも学習意欲につながりました。

教科書の内容は、スペインの著名人や世界の主要な歴史、日常会話を取り扱ったものが多かったです。2 週間に 1 度復習テストがあり、その内容も教科書から出題されました。普段の授業でスピーキングやリスニングの力は測られているので、テストはリーディングとライティングでした。課題は練習問題を 2 ページほど出される程度で、大きな負担にはなりませんでした。授業中にしっかり集中して取り組み、放課後は休息に当てることが推奨されました。

全体を通して印象的だったのは「日本人は内気で、海外の人はどんどん発言する」ということがよく言われますが、これは本当にその通りでした。他の国籍の学生はたとえ文法や発音が正しくなくても、言い終わるのに時間がかかったとしてもどんどん発言するので、最初は気後れしてしまい焦ってしまいました。しかし、質問や発言が他の学生にとっても新しい学びに繋がるという利点があると気づくと「自分の不完全なスペイン語が他の人や授業の進行の迷惑になるかもしれない」という懸念を手放すことができ、少しずつ積極的に発言できるようになっていきました。

(2) 授業を受けてどのような知識等が得られたか。(500 字程度)

文法や動詞の活用は、大学での「スペイン語教養実践」の授業で既に学習していました。なので、今回の留学では特にリスニング力が伸びたように感じます。1 か月間、常にスペイン語を聞いていたことが大きな要因でした。また、発音もかなり上達したように思えます。出発前までは、日本語のわかる先生や自分と同じ日本人の学生としか会話練習をしませんでしたが、そのときの発音では現地人に伝わりにくいことも多かったです。日本語や英語とは異なる発音を中心に、声に出して練習することを意識していました。

語学だけではなく、スペインの文化についても学習しました。もちろん、日本にいてもインターネットや書籍で知識として知ることができますが、現地人である先生から実状を聞いたり、実際に街で見物したりとより深く学ぶことができたと感じます。特にサンティアゴ・デ・コンポステーラは、キリスト教徒にとってとても重要な場所なのでキリスト教に関する知識や宗教的な慣習を豊富に習得することができました。

また、クラスにはさまざまな国籍・年齢の人が在籍していたので各国の社会や文化、お互いのイメージや関係性を知ることができたのも今回の大きな収穫といえます。

(3) 授業を受ける前・受けた後でどのように（気持ちなどが）変化したか。(400 字程度)

大学での授業は比較的良好な成績だったので、話す機会は少なかったものの、同じコースに参加する他の学生も自分くらいのレベルだろうと楽観的に考えていました。実際に行ってみると何年もスペイン語を勉強してきたようなレベルの高い人が大半で、とても落ち込んだことを覚えています。しかし、実際に授業を受けていくと、徐々に前向きに考えられるようになりました。というのもコースに参加した学生は皆、語学学習の難しさを理解していてクラスには「皆で考えよう」「知識を共有し合おう」というあたたかい雰囲気があったからです。先生も、どんなにぐちゃぐちゃのスペイン語を話しても最後まで聞いてくれたので安心して取り組むことができました。もちろん周りが自分よりも話せたり、聞き取れる場合が多かったので焦りや悔しさを感じたこともありました。それでも親切な先生や学生が教えてくれたり、一緒に練習してくれたので最後まで楽しく学ぶことができました。

(4) 今後どう生かしていくか。どのように学業を進めていくか。(300 字程度)

現地で先生にも勧められた DELE の受検に挑戦したいと考えています。授業中、何度か DELE のリスニング問題をしたことがありますが、わからない単語も多いうえ、やはりとてもスピードが速くほとんど聞き取ることができませんでした。そのため、今年度後期以降もスペイン語の授業を履修し、さらに自主的な学習に励むなど十分な対策をしてから臨みたいと思います。海外異動がある企業への就職を視野に入れているため、取得した資格は今後の就職活動に役立てたいと考えています。

また、今回留学をしてみて、もっとスペイン語でコミュニケーションを取りたい、世界中の人と話せるようになりたいと思ったので話す機会を増やしたいと思います。